

マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2024年3月号

2024年3月4日
(一財) マイクロマシンセンタ
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数 (改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 令和5 (2023) 年12月分速報からの改訂状況 (令和6(2024)年2月28日発表) より

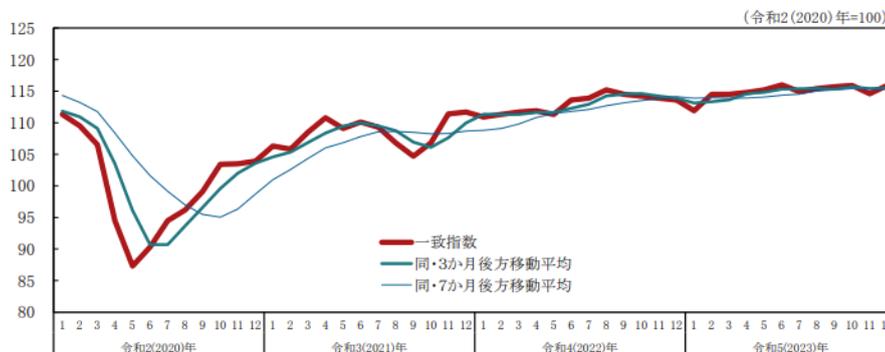
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202312rsummary.pdf>

- ① 12月分 CI (令和2(2020)年 = 100) (改訂値)は、
先行指数：110.2、一致指数：115.9、遅行指数：106.0

	12月分C I (令和2(2020)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	110.0	110.2
一致指数	116.2	115.9
遅行指数	106.0	105.9

- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数 (C I 一致指数) は、改善を示している。

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ :

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和5 (2023) 年12月分 (速報) (令和6年1月11日公表) 」 pdf :
(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202312psummary.pdf>
(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202312report.pdf>

■ 設備投資 令和5年12月実績：機械受注統計調査報告

(令和6年2月19日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

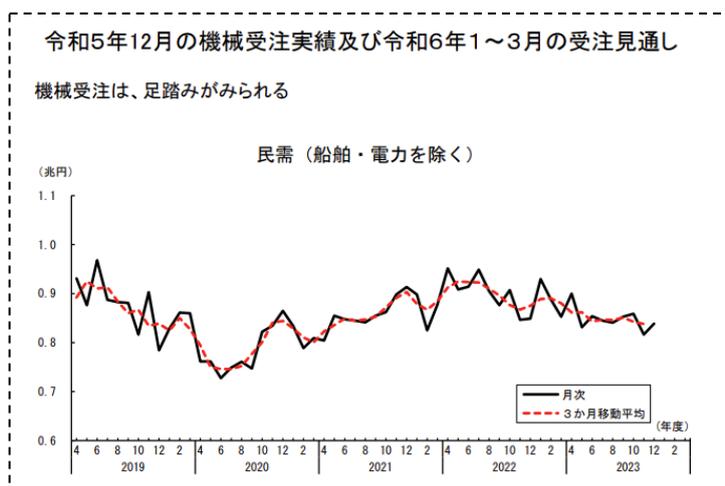
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2312juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、
2023（令和5）年11月前月比2.0%増の後、12月は同10.3%増の2兆9,860億円となった。
2. 需要者別にみると、
民需は前月比19.8%増の1兆1,149億円、官公需は同4.1%増の3,830億円、
外需は同0.3%減の1兆2,949億円、代理店は同6.5%増の1,262億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、
2023（令和5）年11月前月比4.9%減の後、12月は同2.7%増の8,388億円となった。
このうち、製造業は同10.1%増の4,155億円、非製造業（除く船舶・電力）は同2.2%減の4,385億円となった。

(以下図表は「令和5年12月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2312gaiyou.pdf>



期・月	対前月(期)比								(単位: %)	
	2023年 (令和5年) 1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	2024年 (令和6年) 1-3月 見通し	2023年 (令和5年) 9月 実績	10月 実績	11月 実績	12月 実績	
受注総額	△8.7	7.1	3.4	0.9	0.8	15.1	△7.6	2.0	10.3	
民需	7.1	△2.2	8.4	△7.0	9.1	4.9	△1.9	△7.4	19.8	
〃(船舶・電力を除く)	2.6	△3.2	△1.8	△1.0	4.6	1.4	0.7	△4.9	2.7	
製造業	1.9	1.1	△2.5	△2.3	11.7	△1.8	0.2	△7.8	10.1	
非製造業(除く・電)	3.2	△8.8	△0.8	2.5	△1.8	5.7	1.2	△0.4	△2.2	
官公需	19.9	12.2	3.1	△2.3	12.0	63.0	△37.9	36.3	4.1	
外需	△21.4	10.7	1.4	6.7	△13.7	18.2	△3.4	2.5	△0.3	
代理店	0.1	0.6	△4.9	8.0	△0.1	△20.1	24.1	△5.7	6.5	
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	0.5	△0.9	△0.6	-	

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. △印は減少を示す。
3. 見通しは2023年12月末時点の調査。

▶ 参考-機械受注統計調査報告（本文）（令和5年12月実績）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2312juchu-1.pdf>

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 2024年2月29日発表)

【2024年1月分】鉱工業指数の動向 (速報) より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2020_202401sj.pdf
- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2020_202401sj.html

ー 生産は一進一退ながら弱含み ー

- ・ 今月は生産、出荷、在庫は低下、在庫率は上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、2月、3月ともに上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は一進一退ながら弱含んでいる。

・生産は、前月比-7.5%の低下。

低下業種：自動車工業、汎用・業務用機械工業、電気・情報通信機械工業等
上昇業種：輸送機械工業 (除. 自動車工業)

・出荷は、前月比-8.3%の低下。

低下業種：自動車工業、輸送機械工業 (除. 自動車工業)、汎用・業務用機械工業等すべての業種

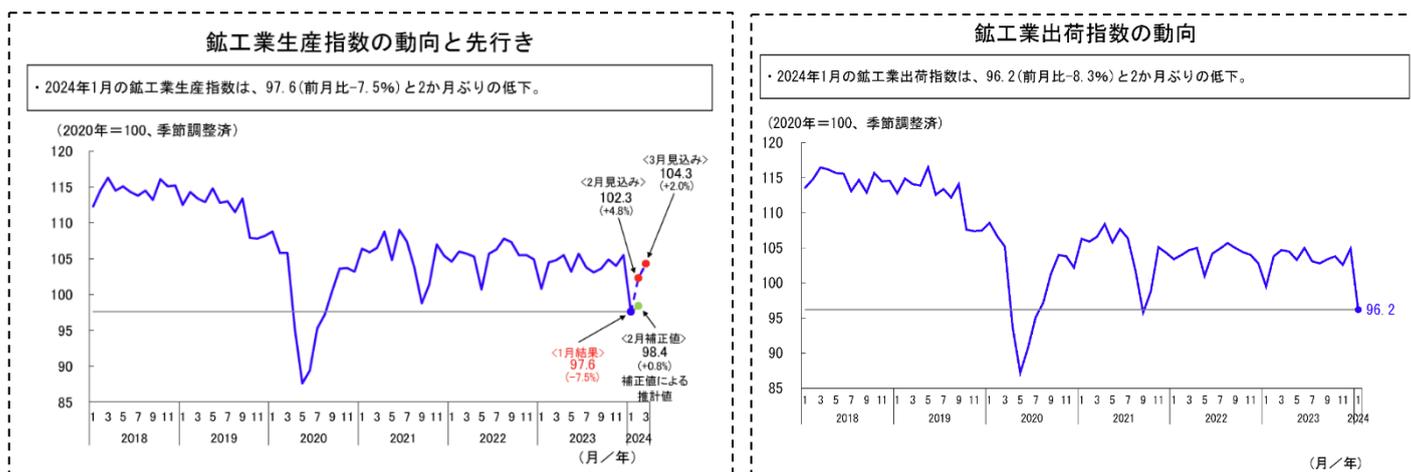
・在庫は、前月比-1.8%の低下。

低下業種：自動車工業、電子部品・デバイス工業、
化学工業 (除. 無機・有機化学工業・医薬品) 等
上昇業種：石油・石炭製品工業、鉄鋼・非鉄金属工業、プラスチック製品工業等

1月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20240229_1.html

(解説) 1月の鉱工業生産は、これまでの上昇の反動に加えて、工場稼働停止などの影響を受けて、自動車工業を中心にほとんどの業種が低下したことなどから、全体として前月比マイナス7.5%と、2か月ぶりの低下。基調判断は、「一進一退ながら弱含み」に引き下げ。



詳細は以下の**経済産業省 ホームページ**をご参照下さい。

鉱工業指数 (最新の)「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

経済解析室ニュース (サービス業・製造業の解説・分析レポート・統計)

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/mailmaga_index.html

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2024年2月29日発表より抜粋)

【2023年12月動向概況】

- ・ **2023年12月のグローバル出荷額は**
3,459億円、前年比100.9%となり、前年比プラスとなった。
- ・ **品目別出荷は**
受動部品 (前年比97.8% 1,600億円)、接続部品 (同97.1% 832億円)、変換部品 (同116.4% 574億円)、その他の電子部品 (同102.5% 451億円) となった。
- ・ **地域別出荷は**
日本 (前年比111.1% 851億円)、米州 (同92.5% 359億円)、欧州 (同94.3% 306億円)、中国 (同104.2% 1,239億円)、アジア・その他 (同92.8% 698億円) となった。

1. 月別出荷金額 (2024.02.29発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2023年度						2023年度累計	
	10月		11月		12月		23年4月-23年12月	
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)
世界計	3,924	98	3,906	103	3,459	100	32,999	97
(日本)	951	116	934	119	851	111	7,632	111
受動部品	1,820	100	1,792	101	1,600	97	15,323	95
コンデンサ	1,298	102	1,283	103	1,131	98	10,908	95
抵抗器	160	90	157	89	144	90	1,411	91
トランス	44	91	41	79	43	87	389	92
インダクタ	282	99	280	108	251	101	2,331	96
その他	33	89	28	76	29	100	283	79
接続部品	900	90	924	99	832	97	7,849	94
スイッチ	375	99	406	106	357	108	3,275	104
コネクタ	520	84	514	94	470	90	4,540	88
その他	4	100	3	96	3	121	33	106
変換部品	693	98	693	106	574	116	5,419	102
音響部品	29	121	27	137	23	122	235	112
センサ	209	98	215	106	203	104	1,825	98
アクチュエータ	453	97	450	105	347	124	3,358	103
その他の電子部品	510	109	495	109	451	102	4,407	110
電源部品	242	98	229	88	212	90	2,149	106
高周波部品	268	122	266	139	239	116	2,257	114

2. 地域別出荷金額 (2023年度)

地域別出荷金額 (億円)	2023年度						2023年度累計	
	10月		11月		12月		4月-12月	
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)
グローバル	3,924	98	3,906	103	3,459	100	32,999	97
日本	951	116	934	119	851	111	7,632	111
米州	442	95	387	90	359	92	3,773	96
欧州	399	101	400	97	306	94	3,517	104
中国	1,371	98	1,413	112	1,239	104	11,422	95
アジア他	755	83	766	84	698	92	6,615	87

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上